

- ・コラム (杉浦 良)
- ・宿泊研修 2011 報告
- ・お知らせ (東日本大震災被災地支援チャリティライブ、阿波銀福祉基金助成、研修・見学等)
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

147号/2011年 *Since 1984*

—「ラッキョはワシも嫌いじゃ」— 杉浦 良

今年には日本にとっても随分辛い年になりました。東日本大震災と福島原発事故、ギリシャから端を発したユーロ危機、タイの大洪水など、数えれば切りがありません。政権が変われば何かが変わるかもしれないという期待が一人歩きして、よく見れば変わらない現実に愕然とするのは、ブッシュ政権からオバマ政権にチェンジしたアメリカだけではありません。ただ先の読めない現実に「リーダーシップのある白馬の騎士がやってきて、素晴らしい社会を造ってくれる・・・」などと、懲りずに他力本願で期待するのは、もうそろそろやめたほうがよさそうです。「それほど人は変わらない・・・」今までの少ない人生を振り返って見れば、そんな言葉に突き当たります。構成している人や組織が変わらないのに、いくら素晴らしい青写真を作っても、そう上手くはいきません。むしろ「希望が持てない現実に耐えられなくなった時、ユートピアを名乗る悪魔に魂を売ることになる・・・」と第二次世界大戦の歴史をひも解けば、おのずと答えが出てきます。じっくり、自分のやれる事を、ひとつひとつ、焦らず、アントニオ・ガウディの亀のようにやるしかないのでしょう。背伸びして、頑張っ、一生懸命やり過ぎて、潰れてしまった人たちの存在を知るにつれ、そんな事を思います。「あせらず、あわてず、あきらめず」という言葉を知ったのも、知的や身体のハンディーを持ったメンバー達より、精神のハンディーを抱えたメンバーや保護者の方々との関わり合いからでした。目まぐるしい医学の進歩により、救えない命が救えるようになったのも確かですが、精神領域での治療法は、良い薬ができたとはいえ、根本治療に手が届きません。病気と上手く付き合う知恵を、メンバー自身と保護者や関係者で育て、深めていくことの重要性をつくづく感じるこの頃です。



昼食のみそ汁作り
ハンディーの問題で包丁を使うのが苦手なメンバーが、料理ばさみを使って野菜を切っています。

「A君！お父さんもお母さんも、ここで昼食を食べてもいいと言ってるから、そうしたら？」

「うーん……。そう言ってもなあ……。いろいろ問題があるんだよ……」

「もう20才になったから、障害者年金も下りるようになって、昼食代の心配はせんでいいと違う？」「……」

A君は家の状況を考え、自分で弁当を作ってきます。お父さんが炊いたご飯を詰め、昨日の晩のおかずの残りを弁当箱に入れてくるのです。おかずの残りがないと、卵を焼いたり、魚肉ソーセージを切って詰めてきます。白いご飯がほとんどの弁当箱の横で、国府給食やハートランドの色とりどりの弁当が並びます。なかにはお母さんの手作り弁当持参のメンバーもいますが、ほとんどは国府給食さんのおかずとメンバーが作った味噌汁とご飯か、ハートランドさんの弁当と手作り味噌汁の組み合わせを選びます。前者はご飯と味噌汁のお代わりは自由、後者は味噌汁のお代わりが自由です。前者を選ぶか後者を選ぶか？それぞれの弁当のフタを開け閉めしながら、思案するメンバー達が続出です。1食400円の実費負担ですが、超大盛ご飯を2杯、味噌汁も2杯食べるBさんやCさんの場合、原価割れは言うに及びません。年金が下りるまで彼の健気な意志を尊重してきましたが、そろそろ彼の健康を考えると次の手を打たねばと思っていました。家庭訪問で両親の許可を頂き、あれこれアプローチを変えて説得工作をしますが、うんと言ってくれません。他のスタッフにも説得を頼みますが上手くいきません。

「A君は良くやってるよ。D君やE君も良くやってビックリするほど体がガッチリしてきたな。背中や肩や腕の筋肉がすごい。入って来た時はみんなヒョロヒョロしていたけど、ここで作業して立派な身体になってきた。ただA君も多少マシンになったけど……、良くやる割には……。そして風邪ひいたり、調子が悪くて良く休むだろ？野菜とか色々食べんと……。休みの時もラーメンとご飯だけではなあ……。」

私の顔が説教、指導している表情に変身しているのでしょうか、A君の困惑ぶりが読み取れました。

山ほどのダジャレや冗談の中に、A君のこぼれ落ちる本音の言葉を私なりにつなげてみると、最近妹も弁当がいるようになり、お父さんと自分の弁当も一緒に作ってくれて断りにくい、とのことでした。

「そうか、それは難しいなあ……。ではFさんが嫌いだといって残すゴボウ、レンコン、豆やラッキョ、Gさんが残すフライ物、Hさんが残すダイコンは、全部もらって食べてよ！」そう言うと、周りにいたみんなが、それぞれ嫌いな食べ物の名前を挙げながら、無償提供を名乗り出ました。

「これこそ助け合いの精神だわ！どんどん支援するからね！」と大いに盛り上がった矢先、

「でも、それは難しいなあ……。ラッキョはワシも嫌いじゃ！」

宿泊研修 2011 報告

平成 23 年 11 月 7 日（月）～8 日（火）、財団法人徳島県福祉基金より「地域活動支援センター等利用者の社会参加促進事業」として受けた助成金に自己資金を合わせ、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修旅行を行いました。研修の参加者は様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計 31 名です。

今回の研修では、作業所利用者の見識を深めることを目的として、王子製紙株式会社米子工場の見学を行いました。

11 月 7 日午前 10 時、金比羅タクシー 41 人乗り大型バスに乗って太陽と緑の会リサイクル作業所を出発。経費節減のため昼食は手作りのおにぎり。午後 2 時 20 分、宿泊先のホテルウェルネスほうき路（鳥取県米子市）に到着。

11 月 8 日午前 9 時 15 分、ホテルを出発。午前 10 時に見学先の王子製紙米子工場に到着。工場見学室にて DVD とパンフレットを使用しての説明後、バスで移動しながら、各製造工程の案内をして頂きました。

米子工場は高級塗工紙、高級白板紙の専用工場です。東京ドーム 12 個分の敷地で、1 日のべ 1000 人（関連会社含む）の方が 3 交替 24 時間操業で働いています。

中国など海外から境港に輸入された木材チップは、200 台のトラックで米子工場まで運びます。木材チップは、薬品を

入れて蒸解釜で煮て、木材繊維と黒液（木材繊維以外のものが薬液に溶け出したもの）とに分離し、漂白して、化学パルプとなります。

黒液は濃縮してボイラー（発電等）の燃料として使用し、使用後は薬品として回収し、再使用します。木材も薬品も無駄なく使う合理的なシステムです。ボイラーの燃料としては、他に R P F（リサイクル不能古紙、塩ビを除く廃プラスチックが原料）、廃タイヤも活用し、重油は一切使用せず、4 基のタービンによる自家発電で電気を自給自足しています。

パルプは、最先端の N-1 マシン（抄紙 1600m/分）、N-1 コーター（塗工 1800m/分）を導入した抄紙・塗工工程で紙となり、表面に薬品を塗って製品化します。製品の半分は、工場内の専用引込み線から鉄道で東京へ出荷し、残りはトラックで関西圏、中部圏等へ運びます。

また、平成 4 年に米子工場の社員食堂から始まった割り箸リサイクル運動は、地元皆生温泉の旅館組合の協力によって広がり、その後全国的な運動に発展していったとのことでした。

説明や案内の際には、メンバー、スタッフ、ボランティアから次々と質問が飛び出し、ピントのずれた質問に対しても、にこやかに、明確に答えて下さり、本当に感謝しております。

おかげさまで大変有意義な研修とすることができました。

お知らせ

チャリティライブ開催

10月25日午後7時～9時、般若院（徳島市寺町）にて、おおたか静流さんのチャリティコンサートを開催しました（般若院主催 太陽と緑の会協力）。

3月16日に続いて2回目の開催となります。今回は、東日本大震災の発生を受けて、チャリティの対象を太陽と緑の会から震災復興支援へと変更して行ったものですが、今回は当初より復興支援を目的としたものです。

keijuさんのギター、慧奏さんのピアノをバックに、おおたか静流さんの祈りをこめた歌声が般若院本堂に響き、約100人の聴衆の皆様を魅了しました。

当日は太陽と緑の会の活動時間を午後3時で終了し、スタッフ全員とリサイクル作業所メンバーの名田さん、米田君

が、コンサート会場での開場準備、受付、場内整理、近隣の駐車場案内、終了後の片付け等、微力ながら裏方で協力させて頂きました。

皆様から寄せられたチャリティ 14万3408円に、おおたか静流さんよりご提供頂いたCDの売上金3万6000円を加えた総額17万9408円を、前回同様、当会が長年に渡りサポートしている「社会福祉法人ありのまま舎」に送り、被災された在宅難病者の支援活動に活用させて頂きます。

これとは別に、おおたか静流様より、太陽と緑の会へ5万円のご寄付を頂きました。般若院の檀家4名の皆様より3万3000円、般若院に置いて下さった募金箱より1万7835円のご寄付も頂きました。大切に活用させて頂きます。本当に有難うございました。



研修・実習・見学受入

10月13日、14日 平成23年度徳島県新規採用職員研修（後期）を受け入れました。午前10時から午後4時半まで、中央病院の看護師及び診療放射線技師6名の皆様が参加しました。

初日の午前中は、パワーポイント使用による当会の活動プレゼンテーションと施設見学、初日の午後と2日目は、当会作業所の様々なハンディを持ったメンバーと一緒に、リユース商品の入れ替え、陳列、店内の清掃、衣料品の選別など、いろいろな作業を体験して頂きました。

2日目の最後に意見交換会を行いました。研修生の皆さんはフットワークがよく、メンバーもよい刺激を受けたようです。2日間お疲れ様でした。

10月16日午前10時～午後3時 阿波高校3年生11名の皆様が、体験ボランティアとして当会の活動に参加。

11月14日午後1時半～2時半 周東町身体障害者協力会（山口県）22名来所見学。

11月14日～15日 国府支援学校高等部2年生岸本君 地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所にて職場体験実習。

11月18日午前10時～11時半 那賀町身体障害者福祉会（徳島県）23名来所見学。

12月2日 午後2時～3時半 国府支援学校寄宿舎保護者会4名来所見学

12月12日 午前10時～12時ジョブスタとくしま職場体験実習講座受入4名

10個100円
セール
(不定期開催)

リサイクル作業所メンバーの小林君、柴田君、名田さんなどが、お客様へのご案内からお会計まで担当します。

商品の包装はセルフサービスですが、メンバーもお手伝いさせていただきます。

単なる処分特価セールではなく、人も物も活かす取り組みのひとつです。



当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2011年10月1日～2011年11月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

おおたか静流、般若院募金箱、般若院檀家4名、中村、山、成瀬、舛田、長岡、吉川、匿名、公益社団法人セカンドハンド、柴田、西谷、匿名、匿名、藤岡、三好、生島、成瀬(郵便振替口座にご入金下さった方) 足立、久米、屋間

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○米本、船越、犬伏、山本、名賀石、池本、吉井、田村、本田、近藤、小西、松本、門田、島田、川上、竹内、鈴木、多田、二志、平野、新居、門條、河野、原田、佐野、富士、梶井、岩岡、粟飯原、岡田、飯谷、田中、井口、藤永、西岡、川西、近藤クリーニング、堀川、山岡、渡辺、中曾、橋本、竹丸、藤井、堤、坂東、真沢、大櫛、仁尾、森川、恰、宮井、湯浅、久次米、奥村、佐藤、藤本、吉田、細岡、日下、竹村、小田、岡、石塚、漆原、カンガルー歯科、鹿山、浅野、徳島市地域包括支援センター、林、黒島、ピンク美容院、木村、廣澤、森、米沢、山下、ホンゴルズル、美野、石本、一丸、ホテルサンルート徳島、穴吹ハウジング、篠原、税理士法人徳島、吉内、青木、隅野、石浜、中山、七條、高橋、不藤、柏木、福田、相原、岸下、伊勢、西條、下山、久米川、吉岡、第十、アルファステイツ沖浜、遠藤、杉山、阿波銀行 国府支店、蔵本、大野、鎌内、中田、真鍋、岩城、阿部、高木、村田、山内、矢野、屋間、小渡、藤田、村口、川人、赤坂、伊勢谷、市川、アート整体院、加藤、丸山、太田、松谷、山田、佐伯、徳島市地域支援センター、坂口、大下、長岡、端野、浜田、笠井、鈴江、西、森、西谷、武中薬局、立石、倉田、榎浦、井内、沢口、藤村、ファミリーマート仲之町店、松村、浅見、藤澤、横山、後藤、吉崎、福岡、才木、徳倉、河崎、播磨、宮城、坂野、富永、カトリック教会、岩端、長尾、鎌田、大寺、生原、梶田、八万婦人会、(株)フィット、金田、伊藤、桑島、上野、あいあいフェスティバル2011、振津、小林、松の花治療院、八田、不藤、井上、松原、豊田、柏原、松下、横田、大久保、三木、吉浦、大橋、下塚、北野、岡山、岩佐、パソQ、荘司、生島、米原、斎藤、ビューティオアシス、鴻野、藤黒、岸本、小倉、増田、古川、ホリエ印刷、原、國安、(有)ワイシステムズ、田川、森根、野田、佐々木、谷川、福井、黒川、尾形、本城、さぬき、和田、石塚、わかさ幼稚園、吉成法律事務所、寺島、川田、生原○板野町○阿部、吉川○鳴門市○二羽、浜、辻、久龍、池森、梶原、岸、石川、三好、大和○吉野川市○近藤、北川、西条、福田○石井町○矢部、宮浦、仁木、阿部、平田、桜井、矢田○阿南市○河野、松田、小山、中本○小松島市○角谷、内藤、吉田、花田、幸田、矢部○藍住町○東洋クリーニング、大倉、藤川、日下、林、森本、眞本、谷崎、大橋、福永、西浦、吉海、小川○松茂町○藤原、松茂西団地自治会○阿波市○河野、湯浅、大塚○北島町○坂東、結城、川崎○上板町○作本、山下、橋本

品物を持って来て下さった皆様 (郵送含む)

○徳島市○川上、浜田、茂村、小泉、西條、米崎、平野、小林、津田、松下、鎌田、早藤、井上、猪山、岸本、荒木、行本、岩井、生田、三谷、山口、谷村、北井、橋本、安田、松田、田原、元木、酒植、松浦、永松、七條、服部、友川、多田、富永、中平、米田、芝井、高岡、植松、武市、中川、田中、柏野、森本、斎藤、大坂、堀、大島、佐藤、仲尾、森田、丸谷、松本、山下、播、後藤、吉坂、東條、芝、樋口、近藤、川島、佐古、森、高橋、中原、楠見、梶原、萩原、福家、鈴江、住吉、一宮、岩野、猪森、白木、西村、宮内、柳井、尾形、荒川、長尾、林、桑原、赤松、亀井、原田、槇本、田野、照本、久米川、大屋、倉本、岡島、高田、久米、篠原、中西、森川、三久、河野、大山、坂東、浜野、越、和泉、岩田、梅谷、吉田、井元、月岡、井内、金原、辻、小濱、和田、湯浅、川人、象潟、大寺、岡田、田岡、庄野、石川、戸村、島、川崎、戸田、木村、山田、山本、杉浦、廣田、大黒、中山、長濱、蔭山、杉本、尾崎、大上、立石、櫛木、板東、長

谷川、馬淵、幸田、山城、淀、藤本、梅岡、石本、十川、宇原、境、真貝、横山、下山、圓藤、杉内、高瀬、渡、葉坂、西、森岡、手奥、川口、安芸、兼子、麻植、平田、真田、阿部、松倉、西川、大北、田村、木元、長岡、久川、朝田、城福、明井、清井、西岡、労福協なのはな、夏木、島田、稲井、十河、安井、真鍋、三木、三国、楠川、四宮、矢野、溝端、滝本、大峰、岡本、美馬、高石、内藤、吉元、池田、栗尾、東口、小池、山内、野々瀬、青山、神野、木場、藤永、賀好、米沢、黒田、志摩、井川、本庄、谷口、本田、大家、河崎、小原、西野、黒川、西森、谷川、楠本、出葉、西本、佐中、犬伏、相原、酒井、友成、奥村、水澤、花井、新居、常楽園、前原、梅津、清谷、正木、梯、笹田、吉成、富田、永田、宮脇、桶川、熊本、川田、青木、山花、寺橋、富澤、藤田、谷中、堀田、荒岡、川端、松平、清宮、松島、谷、氏橋、有田、清水、梅本、以西、数藤、広崎、水口、村賀、岩見、井藤、領家、榎本、牧野、藤井、白勢、木内、村本、福田、楓、(有)とくしんビジネス、高濱、宮本、岸田、栗谷、前川、山松、四国大学チャリティークラブ、三笠、北岡、上山、中石、竹口、重井、上本、石原、高須、中野、岩丸、佐々木、松尾、溝淵、岩崎、四方、春藤、増田、田淵、高開、片山、秋山、岩本、坂野、徳永、手塚、植田、飛鳥、杉山、大田、西谷、石田、上藤、佐古小学校、家庭倫理の会徳島、窪川、井原、南部、湯川、弘瀬、大住、賀川、鮎本、山橋、尾方、東尾、森、船本、日野、浜西、芦田、梯、坂本、河村、久保、岡山、河口、香川、渡辺、今井、奥田、山元、加納、西尾、あっぷる、角山、ぱんどう美容院、柳川、三野、○吉野川市○瀬川、坂東、片岡、露口、北浦、香西、住友、太田、市村、山田、秋田、大塩、田村、戸田、早見、野口、阿部、竹中、高開、中西、阿部、鎌田、布施、迎、渡部○石井町○加藤、浅井、近藤、大石、松浦、吉本、井上、高橋、山本、矢野、今井、谷、福島、阿部、前坂、小川、若松、田中、松田、谷、近藤学習社、河野、柏尾、川端、木村、秋山、片岡、久米、久長、中野、亀村、石本、岡田、大石、藤本、児島、佐藤、西岡、白川、松本、堀江、白木、植田、森野、岡本、平田、小田、定本、桃井、美馬、中東、中内、松下、古高、中内、田所、佐々木、秋本○鳴門市○平野、濱堀、中谷、大石、岡田、木下、斎藤、福山、大橋、岡本、山本、山田、元木、大江、横畑、梶○藍住町○寺田、笠井、河野、竹内、鹿児島、井上、北岡、岡田、浜、有島、吉田、松本、山本、大橋、寺澤、石本、小林、平野、日切、溝淵、入山、川端、上橋、梶、中尾、高田、服部、姫野、中野○小松島市○谷、矢部、山岡、川口、岩本、豊栖、横田、新居、渡辺、井関、中川、大上○松茂町○岩井、河野、大西、土井○美馬市○福井、清水、中川、高木、黒岩、曾我部○神山町○中原、五十嵐、坂東、田中○阿南市○志賀、久米、加藤、松原、平尾、堺、川野、松内、細川、三原、天羽、石川、武市○上板町○天野、稲井、稲居、川内、渡辺、近藤、辰巳○北島町○石田、池形、北峯、岡本、北島、中尾、井上、東、福原、今市、久湊、萩原、永井、杉野、和喜、平野、辰巳○勝浦町○桑村○阿波市○平田、三島、中西、川井、高島、島田○板野町○林、阿部、正久、磯田、清水、信田、鎌田○東みよし町○山岡○海陽町○神沢、古藤、地域共同作業所 虹、長尾○那賀町○原○佐那河内村○平岡○上勝町○田中○牟岐町○古藤○広島県○NPO法人 ぴいあらいぶ○兵庫県○吉良、長田○香川県○萱原、矢部、佐々木○福岡県○永峰○愛知県○松浦○愛媛県○濱田○石川県○吉田○京都府○藤原

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、持ち込みカードにお名前を書かずに帰られた方もおられ、実際は上記の3倍以上の方のご協力を頂いております。

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障がい者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

多田様からはミカンを、川人様からはハウレンソウを、高木様、吉田様からは旬のお野菜等を頂きました。河野様からは作業所メンバー、スタッフの昼食にチキンカレーを頂きました。ありがとうございました。

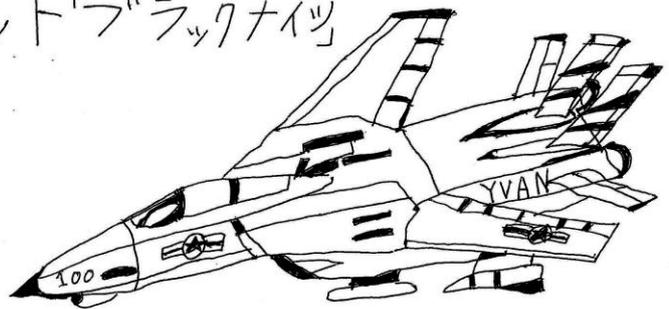
編集後記～共働作業所の原点～

箕面障害者共働作業所そよかぜの家の代表及び事務局長を務め、今年5月に退任・退職された岩崎敏男さんの文章を少し、ご紹介したいと思います。いつも当会に送って頂いている会報に掲載されていたものです。

「多くの障害者作業所、事業所の例にもれず、『そよかぜの家』においても、ほぼ毎日と言ってもいいぐらい事件が起きる。事件といっても、仕事上のミス、行き違いから起きるものもあれば、感情的なもの、好き嫌いから、あるいは偶然から起きるもの、さまざまである。大勢の前で起きることもあれば、他に誰も見ていないところで起きることもある。暴力的な結果にいたることもあり、それが一番の問題である。大勢の前で行われるこ

とは皆で止められるから重大なことは得てして誰も見ていない場所で起きることが多い。『そよかぜの家』は、障害のある人を預かって見守る施設ではなくて、文字通り、障害のある人もない人も『共に働く』場所だと考えているので、いつも誰かが傍にいて見守っているような監視のごとき真似はしないでいたい。このことを、周囲の人にも、理解していただきたいと思っている。しかしながら、安全性を担保するための最大限の努力はしている。配置を換えたり、時間帯をずらしたり、さまざまなことをする。それぞれが注意しあう。こういった努力は、概して後追いになってしまうことが多いので、功を奏さないこともある。でも、いつも考え続けているし、暴力的な事件が起きて、誰かが負傷することがないよう、皆で約束し合っているが、完全に防ぐことが出来ないのも、また事実である。

F-14A トムキャット「ブラックナイト」



平成23年はアメリカ海軍航空隊が満了して「100周年」になります。F-14は退役して原子力空母「ロナルド・レーガン」にF/A-18Fスーパーホネットがはいびされてフライトしています。

イラスト・文 藤田さん

自由な意志での行動を保証すること、安全性を担保すること。この二つは、どちらか一方を完全に実現するという考えはありえない。どちらも実現しなければならないことだからである。監視のようなことをすれば、安全性はほぼ完全に守られるだろう。でもそれは、最終的に監視カメラに至る道である。人は、基本的に、誰からも監視などされてはならない。監視ではなくて、『見守り』と考えてもあまり変わらない。『見守り』という言葉の中に、深い差別感を、私は感じる。

『健常者スタッフ』は『障害者スタッフ』を一方的に見守っているのだろうか？共に働き、共に行動する局面で、正反対の事実は無数に現象する。Aさん、B君、Cさんの視線を、私は、いつも感じている。大事なことは、共通の目的と、仲間を守るという共通の意志を、何度も何度も確認することだろう。まさしくそれは、何度も何度も、である。」

（「KSKQそよかぜ通信」(NO. 142) (平成 22 年 12 月 31 日発行)より）

「監視のごとき真似はしないで」なおかつ「安全性を担保するための最大限の努力」をする、というアプローチよりは、「見守り」という名の監視体制を強化していくことの方がずっと楽です。しかも、その方が制度的にも社会的にも高く評価される、というパラドックスがあります。

何のための活動か、誰のための制度なのか、自問自答の作業を怠った時、私達は原点を見失うのかもしれない。

今年も残すところわずかとなりました。3月に東日本大震災が発生し、当会もカンパの送金、2度のチャリティライブのサポートなど、会としてできる限りの支援をさせて頂きました。

遅々として進まない政治改革にいら立ちの声も聞こえてきますが、政治とは国民の意識の鏡のようなものでもあり、私たち一人一人の意識が変化するには長い年月が必要なのかもしれません。太陽と緑の会記念誌の編集作業で 27 年間の活動の軌跡をたどりながら、改めて思いました。

本誌をもちまして、新年のご挨拶に代えさせて頂きます。今後ともよろしくお願い致します。(小山)

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリユース・リサイクル活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・障害者地域共同作業所とリンクさせて、行っています。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら年間 300 日、土日・祭日を含めた日常活動を行っています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会
〒779-3120

徳島県徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX

088-643-1054 (事務局)

088-642-1054

(リサイクル、地域活動支援センター)

URL <http://www.t-midori.org/>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎

協力者名簿入力 岡田 郁子

製本・発送 福住ヒサヨ 走川幸児 宇津辰則

年会費：正会員 1 万円 準会員 1,000 円

郵便振替口座：01620-8-44703